

2020年度 武庫川女子大学 秋季英文学会講演会

演題 「発展途上国の持続可能な開発－インドネシアを事例に」

講演者 堀江 正伸先生

(本学英語文化学科/英語キャリア・コミュニケーション学科 教授、
国際センター センター長)

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に
国連サミットで各国首脳により合意された国際社会の開発目標であり、
標語には「Leave No One Behind(誰も取り残さない)」という言葉が
採用されている。しかし、日本の実業界や学術界では、「私たちができること」
という文脈で用いられることが多く、日本における SDGs の広がりを見ると
「本来の『誰も取り残さない』という大目標はどうなってしまうのか」という
懸念がある。

本講演では、2015年以前よりもはるか昔から
開発や発展から取り残され、インドネシアで最貧困地
とされているティモール島の人々の暮らしや彼らの社
会システムに焦点を当て、2030年にティモール島の
人々が「幸せ」と感じる社会の在り方や、その実現
のために国際社会に求められていることについて発表する。



(出典:外務省 HP)

【注意】本講演会はオンデマンドの動画配信による講演会です。(オンラインによるライブ講演会ではありません。) 下記の Google Classroom のクラスコードを登録し、配信期間中に視聴してください。

動画配信期間：10/24(土)14:00～11/7(土)14:00

「2020年度英文学会講演会」クラスコード：anvlojm